

臨床で身近なCR修復を審美領域で活かすための一書！

日本歯科評論 THE JAPANESE Dental Review / 増刊

審美と機能を求めた 前歯部コンポジット レジン修復

編著 大谷一紀 (東京都台東区／大谷歯科クリニック)

- コンポジットレジン修復は、チェアサイドで手軽に行える修復処置として広く普及しています。また、1種類で多くの色調に対応可能なユニバーサルシェードの登場など製品の多様化、歯質との接着技術の進展などもあり、前歯部への審美的な修復の要求にも十分に応えられる環境が整っています。
- “手軽”とはいうものの、審美性が求められる前歯部への適応となると、材料の特性を知り、手技上で押さえておくべきポイントが出てきます。
- 本書では、前歯部へのコンポジットレジン修復にテーマを絞り、治療前・治療時に必要となる処置のポイントと、さまざまな実践例をエキスパートの臨床家により紹介しております。

A4変判・128頁・カラー・定価6,930円(税込)



審美と機能を求めた 前歯部コンポジットレジン修復

内 容 紹 介

I 前歯部コンポジットレジン修復の適応と術前の準備

1. 前歯部コンポジットレジン修復の予知性を高めるヒント……………高見澤俊樹
2. 各種コンポジットレジンの特徴
——審美と機能を求めた前歯部修復のために……………宮地秀彦
3. 上顎中切歯の表面構造の再現……………湯浅直人・大谷一紀
4. 前歯部コンポジットレジン修復のラバーダム防湿と歯肉圧排のポイント……………辻本真規

II 前歯部コンポジットレジン修復時のテクニックとポイント

1. 窩洞形成の原則とテクニック——Ⅲ級、Ⅳ級、Ⅴ級……………脇 宗弘
2. アイボリー型セパレーターを用いた前歯部歯間離開のテクニック……………樋口 惣
3. 審美的な形態付与のテクニックとポイント……………菅原佳広
4. コンポジットレジン充填後の研磨と咬合のチェックポイント……………泥谷高博

III 前歯部コンポジットレジン修復のケースプレゼンテーション

1. 前歯隣接面う蝕への対応——Ⅲ級およびⅣ級のケース……………飯田真也
2. 外傷、破折を含むⅣ級ケース……………青島徹児
3. 歯頸部くさび状欠損への対応——Ⅴ級ケース……………吉田健二
4. 歯間離開、ブラックトライアングルへの対応……………棕 由理子
5. 前歯部修復におけるユニバーサルシェードコンポジットレジンの活かし方
——ブレンド効果とマスキング効果から考える症例選択……………畑山貴志
6. Bleaching First
——ホワイティングから始める前歯部コンポジットレジン修復……………南野卓也
7. 外傷歯に対するダイレクトベニア治療の一症例……………荻原太郎
8. ダイレクトベニアで対応した歯冠形態の審美的回復……………河阪幸宏
9. ポーセレンラミネートベニア治療におけるダイレクトベニアの有効性……………南 昌宏

A4 変判・128 頁・カラー・定価 6,930 円(税込)